

# 木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター  
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

## 木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(23年1月分)

1. 調査実施期間 平成22年 12月20日 ~23年1月10日
2. 調査実施方法  
東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
1月分の回答企業数は42社、回収率は93.3%である。
3. 判断指数の算出方法  
各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

### 4. 調査結果の概要

#### (1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		23/1月	2月	3月
仕入動向	国産材	△ 21.2	△ 16.7	0.0
	外材	△ 25.2	△ 5.1	0.0
販売動向	国産材	△ 22.7	△ 4.5	4.5
	外材	△ 26.9	1.3	5.1
在庫動向	国産材	△ 19.7	△ 13.6	△ 9.4
	外材	△ 15.4	△ 10.3	△ 10.5

仕入は、国産材、外材とも正月明けから回復顕著で、先行きゼロと積極的な荷動き。  
販売は、国産材、外材ともマイナスから一気にプラスと転換局面の様相で強い。  
在庫は、国産材、外材ともやや大きなマイナスを先行き着実に縮めている。

#### (2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	23/1月	2月	3月
スギ正角(グリーン)	20.5	13.6	4.8
スギ正角(KD)	30.4	17.4	9.1
ヒノキ正角	13.0	4.3	2.2
ヒノキ土台角	12.5	6.3	2.1
米ツガ正角(現地挽)	△ 4.2	△ 2.1	0.0
米ツガ防腐土台角	2.1	2.1	0.0
米ツガ割物(現地挽)	0.0	0.0	0.0
米マツ平角	0.0	△ 2.1	2.1
北洋アカマツタルキ(現地挽)	17.3	19.2	13.5
ホワイトウッド集成管柱	△ 12.5	△ 4.2	△ 2.1
レッドウッド集成平角	△ 2.5	△ 2.5	△ 2.5
型枠合板(国産)	2.3	9.1	6.8
型枠合板(輸入)	11.4	11.4	9.1
針葉樹合板	15.0	12.5	12.5

スギ正角(グリーン、KD)は大きなプラス幅を先行き縮めるが一段の強さ変らず。ヒノキ正角、土台も同様にプラス幅を縮めるが絶好調である。  
米ツガ正角、割物、防腐土台角及び米マツ平角いずれも先行きゼロ、小さなプラスと安定し好調変わりない。北洋アカマツタルキ品薄感もあり大きなプラスで安定して強い。  
WW集成管柱、RW集成平角とも先行き小さなマイナスで、他品種好調気配の中、若干の不透明感見られる。  
合板(針葉樹を含む)はプラス基調で安定し、いずれも強い。

1. 荷動き		
仕 入 動 向	米マツ一般材丸太は、米材輸出価格が若干上昇で、中国向け下級材の上げ幅は大きい。カナダ材も伐採量が少なく、現地在庫も増加の兆しが見られないことから、セカンドグロス・カスケードともに強含んでいる。(東京:米材問屋) 為替円高が仕入れ販売に影響することが心配である。(東京:米材問屋) 新規入荷が来月なのか、予定されていない。(東京:米材問屋) 現地丸太不足で仕入れ大幅減。(東京:南洋材問屋) 相変わらずスギKD材の手当てが難しい。北洋アカマツも品薄感あり。(東京:外材集成材問屋) 産地は雨季入りで原木少なく価格は更に上昇。日本向けは更に調達難。(東京:南洋・中国材問屋) マレーシア・中国共に出材が悪く、入荷は少ない。(東京:南洋材問屋) 丸太不足・悪天候(雪)のため仕入れがうまくいかない。(東京:国産材問屋) ヒノキ小角が思うように仕入れられない。(東京:国産材問屋) 乾燥材は納期がかかる。(東京:国産材問屋) 構造材役物関係は価格安いが需要が無いため安くても買えず。造作材は良材製品が少ない。(東京:国産材問屋) 1月13・14両日に冬のセールを行うため仕入れはやや増加。販売もやや増加を見込んでいる。(東海:外材問屋) 中国からの集成材入荷が激減しており、お手上げ状態。(東海:外材問屋) 良材が少ない。(東京:仲買) スギ、アカマツタルキは品物が少ないので特に注意している。(東京:仲買小売) 我々小売業者の売上が上昇していないので外材、合板関係やヒノキ等は横ばい。スギは全て強保合。(東京:仲買小売)	
	国内京浜マーケットでは、前月に引き続きベイマツ丸太コースト・カスケードともに荷動きは停滞気味。問屋も在庫を抱え、無理な商いはせず、価格維持に動いている。(東京:米材問屋) サイズによっては欠品が出てきていて、打つ手なし。(東京:米材問屋) 相変わらず細かい仕事が多い。単価の上下に関係無く全般的に品薄状態だが顧客の焦りは見られない。(東京:南洋・中国材問屋) 製品、着港前に殆ど売り切り。(東京:南洋材問屋) 年明の仕事は順調。年末のずれ込み仕事が多くある。(東京:南洋材問屋) 役物の動きが悪い。(東京:国産材問屋) 例年1~3月は荷動きが悪いが、今年は例年と違うかもしれない。(東京:外材集成材問屋) 1月は稼働日数が少なくまだ本格化していない。(東京:米材問屋) スギ・ヒノキの注文材の動きが良い。(東京:国産材問屋) 年明けそこそこ動いている。(東京:国産材問屋) 昨年から引き続いた仕事はあるが、新規のものが無い。3月以降の仕事が見えない。(東京:仲買小売) 受注比率において、内装材全般より構造材が少ない状況。在庫もそれに比例する。(東京:仲買小売) 全く振るわず、町場工務店は消えてしまいました。リフォーム工事は順調。(東京:仲買小売) 2月頃に新築の予定があり期待している。需要の底は認識出来たのではないかと考えている。(東京:仲買小売) 先月から荷動きは良好。3月頃までは明るい。(東京:仲買小売) 相変わらず荷動き悪いが断熱材の異常な不足は如何なものか。食糧並みに成否の緊急対策が必要。(大阪:仲買小売) 昨年とは違い今年は少しは忙しくなりそうです。(大阪:仲買小売) 荷動きが非常に悪い。(東海:仲買小売)	
	京浜港でのベイマツ丸太 旧材・不良在庫は見られないものの、問屋の手持ち在庫は増えている。(東京:米材問屋) 極端に少なくなっていて、客の注文にも応じられない。(東京:米材問屋) 小口の問い合わせ用程度に減少。(東京:南洋材問屋) 適正在庫分だけ仕入れる。(東京:米材問屋) 入荷減に伴い在庫はかなり減少している。(東京:南洋材問屋) 在庫量は現状維持。(東京:仲買小売) 今の時期は在庫量を減らす予定。スギKDは除く。(東京:外材集成材問屋) まとまった入荷が少ない事から埠頭在庫は引き続き少ないまま。(東京:南洋・中国材問屋) アカマツタルキが品薄の中、問屋にタイミングよく入荷した分を貰ったが、販売振るわずその分在庫増となった。(東京:仲買)	
	2. 価格動向	
	スギ正角	KD材少なく仕入れに苦労。単価も強含み。(東京:問屋) 柱角相変わらず強基調。仕事量によっては思わぬ高騰もあり得る。(東京:問屋) グリーン材使用殆どなし。KD材品薄で価格上昇、EWより高い所もあるようだ。(東海:問屋) 相変わらず品不足で強い。WW、RW集成との価格差が出て来たので、そろそろ落ち着くか？(東京:仲買) 柱、桁、母屋を中心にKD材は品薄で価格も強含み推移。(東京:仲買)
	ヒノキ正角	小角にやや品薄感が有る。(東京:問屋) 品薄状態。市場にあまり無い。価格やや上昇。(東海:問屋)
	土台角	特1等材がなかなか入荷しない状況。(東京:仲買)
	米ツガ	現状、入出荷のバランスが取れている。(東京:問屋) ヒノキ、米ツガ、米マツは横ばい。(東京:仲買)
	米マツ平角	価格、荷動き横ばい。(東海:問屋) 円高で少々安値が見られる。(東京:問屋)
	北洋アカマツタルキ	入荷が非常に少ない。特にBグレードが価格上昇、入荷待ち。(東海:問屋) 無いもの高の状況になるか。(東京:問屋) 入荷少なく、他の樹種に変わるだろう。(東海:問屋) 強含み。下級品は相変わらず品薄で上昇。(東京:仲買) 一部サイズに入荷切れ。価格も少し値上げ要求されている。(東京:仲買) 依然品不足で強含み。(東京:仲買) 内地挽き値上げのため、連動して値上げ。(大阪:仲買)
WW・RW集成材	スギKD不足のせいかわW柱価格は持ち直し、RWは価格維持が続く。(東京:問屋) RWは値下がりもせずむしろ強含み。(東京:問屋) 若干下がったが先々は不透明。(東京:問屋) 一時弱含みであったが、ほぼ横ばいの価格提示。2月の価格注目。(東海:問屋)	
合板	ほぼ横ばい。(東海:問屋) 針葉樹合板は上昇気配もあり。(東京:仲買)	